

## 北海道博物館アイヌ民族文化研究センターにおける 収蔵資料の整理と資料情報の提供について

### —編集後記にかえて—

1 本誌すなわち『北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第5号では、3編の資料紹介「久保寺逸彦旧蔵のアイヌ民具資料ほか—2019年度新収蔵資料の紹介—」「アイヌ文化展示施設「エカシケナル」関連の新資料—2019年度新収蔵資料の紹介—」「アイヌの衣服資料について—北海道博物館所蔵アイヌ民具資料整理報告1—」を掲載することができた。いずれも主に当館が収蔵する資料の紹介である<sup>(1)</sup>。

北海道博物館アイヌ民族文化研究センター紀要では、既刊の1～4号にも計9編の資料紹介を掲載しており、うち当館収蔵資料の紹介が5編ある。これまで、また本誌掲載の3編についても、それぞれの資料紹介についてはアイヌ民族文化研究センター内での研究計画等に関する検討を踏まえて作成しており、それぞれの論考の序文に相当する箇所、各々の目的や位置付けには触れてきたが、これらの背景もしくは基盤に当たる、アイヌ民族文化研究センターとしての考え方や進め方、またその前提となる収蔵資料の現状と課題等については特に説明する機会を設けてこなかった。研究紀要の投稿区分の中でも[資料紹介]、特に当館収蔵資料に関するそれは、アイヌ民族文化研究センターにおける資料の収集・整理ならびに情報提供の進め方と密接に関わっている。北海道博物館として5年が経過したこの機会に、この点に留意しながら、本研究紀要における資料紹介の考え方・進め方を整理しておきたい。

2 博物館を含む公的な資料保存利用機関が収蔵する資料は、すべて公共財であって、ひろく全ての人々の利用

に供されるべきことが基本原則であることは改めて言うまでもない。当館においても、収蔵する資料は、個人情報・プライバシー情報等の利用に供すべきでない部分を除き<sup>(2)</sup>、ひとしく社会に提供されるものと位置付け、保存と整理につとめ、展示等に供してきた。

収蔵資料に関する情報を提供するための望ましいかたちは、全ての資料の情報を総覧できるデータベースを公開し、もしくは目録を公刊し、かつ、新たに受け入れた資料も逐次速やかにこれらに登録していくことである。当館における資料情報システム等についても、このことを念頭に置いて整備を進めている。

3 しかし現在のところ、当館の収蔵資料の中で、インターネット上や公刊した目録でその情報を開示・提供し得ているのは一部に限られている。

3-1 先ず館全体で見ると、2020年1月現在、インターネット（当館ウェブサイト）上から検索可能な資料は1万1千件余りであって、全収蔵資料（約18万5千件）の10%に満たない。インターネット上の検索手段の他に冊子目録も刊行している（これについては後述する）が、インターネットにも冊子にも未掲載の資料が多数ある。

3-2 アイヌ民族文化研究センターが担当する資料の場合、上記のような状況とともに、利用者に向けた資料情報の提供のあり方に即して、大きく次の二つの側面の課題がある。

(1) 当館における研究紀要の編集・執筆規程（2016年1月28日決定、最終改正同年11月25日）では、「投稿要領」において投稿区分として「論文」「研究ノート」「調査報告」「資料紹介」「翻訳」及び「博物館活動報告」の6つを設けており、これらのうち「資料紹介」については「学術的に価値のある資料・史料の紹介（翻刻を含む）。紹介に必要な限りでの解説・分析などを加えたもの。」と規定している。以下、特に研究紀要の投稿区分を指す場合のみ[ ]で括弧し[資料紹介]のように記載する。

(2) 主に採録によって作成された資料については、公共財（＝人々がひとしく利用できるもの）という面と同時に、語り手をはじめとする関係者のプライバシー・個人情報等の権利侵害を考慮した、利用に供すべきではない部分を有する面との、双方を踏まえた整理と公開を進める必要がある。このことについては旧アイヌ民族文化研究センター研究課において「北海道立アイヌ民族文化研究センターにおける採録資料の公開について」『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』17（2011）としてまとめており、当館でも基本的にはこの考え方に基づき事業を進めている。

- ・利用者が求める情報の不足：民具資料や写真資料については、公開している情報の中にその写真を欠くか、もしくはきわめて解像度の低いものしかないもの、筆録資料や録音資料については、その略内容や目次を館内では作成していても、外部に提供できていないものが多く残されている。
- ・利用者が使いやすい情報検索方法の未整備：上述のとおり、現在インターネット上で検索できる資料は全体の1割以下であるから、利用者は、残余の資料については個別に当館に問い合わせるか、または公開された複数の冊子目録をそれぞれ調べるよりない。しかし例えば民具資料の場合、これを掲載している旧開拓記念館の資料目録は『北海道開拓記念館収蔵資料分類目録』と『北海道開拓記念館一括資料目録』それぞれの10冊近くに及び、しかもこれらのいずれにも掲載されていない資料が多数ある。例えば「イナウ」「木綿衣」「斜里地方に関する資料」といった目的で探そうとすれば、煩雑な作業を重ねざるを得ない。

4 このような現状に対し、北海道博物館全体としては、順次収蔵資料データベースへの登録を進め、さらにそれらをウェブサイト上で公開していく作業を基本的な作業課題に据えている。また、それらの中でまとまった資料群については、資料のリストに資料群の概要や特徴などに関する解説を付けた冊子体の目録（『北海道博物館資料目録』）を刊行することとしている<sup>(3)</sup>。

アイヌ民族文化研究センターでも、この取り組みを進めつつ、担当する資料の現状と課題をアイヌ文化に関する継承・学習・調査研究等のニーズのあり方を踏まえ、当面、この研究紀要において、おおよそ次のようなかたちで資料紹介を掲載していきたいと考えている。

- (1) 新たに収蔵した資料やこれまで未整理だったものを整理し登録した資料については、年度ごとに当館の「要覧」にその概要を掲載しているが、収蔵資料に関する情報はなるべく速やかに提供すべきとの考え方にに基づき、ある程度まとまった資料などを

中心に、当年度の研究紀要において速報的な紹介を行うようにしている。第1号の「北海道乙部町伝世の木綿衣ほか」、第2号の「千島アイヌ製作のハマニク製容器」、第3号の「釧路市・清野写真館旧蔵写真」、第4号の「アイヌ民族の漁具・木盆」雑誌『ウタリ乃光り』及びチン青年団団則』及び本号における「久保寺逸彦旧蔵のアイヌ民具資料ほか—2019年度新収蔵資料の紹介—」「アイヌ文化展示施設「エカシケル」関連の新資料—2019年度新収蔵資料の紹介—」はこれに該当する。

- (2) これまでに収蔵した資料についても、それらの整理や外部への情報提供に課題が残っているものは、それぞれの現状と課題に即して、順次資料整理を進めつつ、その進捗に応じた情報提供を図っていく。本号に掲載した「アイヌの衣服資料について—北海道博物館所蔵アイヌ民具資料整理報告1—」はその成果報告に当たる。上に略述したとおり、またこの資料紹介の中でも言及されているとおり、アイヌの民具については、館としての情報把握においても、また特に文化継承者や学習者・研究者のニーズに照らしても、資料写真などの基礎的情報を整備することや、それらを利用者にとってより望ましいかたちにまとめることなど、多くの課題がある。表題に「1」と番号を付けたのは、このような資料整理とそれに基づく資料紹介とを今後継続的に積み重ねていくという事業計画を踏まえたものである。これまでのところ、こうした資料整理と情報提供は民具資料でやや先行して進んでいるが、追って筆録・録音・録画資料にも取り組んでいきたい。

- (3) 特にまとまった資料群については冊子体の資料目録を作成することについては上述した通りであり、アイヌ民族文化研究センター担当資料についてもその候補となり得る資料群がいくつかある。

なおそのような資料群であっても、冊子としてまとめるまでにはやや時間を要する一方で、速やかに情報を提供することが望ましい面がある場合、該当

(3) このような取り組みは多くの博物館が実践していることでもある。当館の取り組みについては各年度の『要覧』、例えば『北海道博物館要覧2018』（北海道博物館2019）の「資料の収集・保存・活用」（34～37ページ）を参照されたい。

する部分を中心とした資料紹介などを先行して、または段階的に進めていく。本号に掲載した「長万部町に所在したアイヌ文化展示施設「エカシケンル」に関する新資料」は、このような位置付けに基づくものでもある。

5 勿論、北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要では、これらの他にも、他の機関が所蔵する資料の紹介（第2号「樺太アイヌ村落の生活および教育に関する視察復命書」、第3号「先住民族政策に関する樺太庁文書」及び「北海道新ひだか町静内収集の編袋」）や、

アイヌ文化・アイヌ史に関する調査研究・学習にとっての基礎的な情報提供（第1号「アイヌ文献目録」）等の掲載を続けている。

以上のとおり、当館収蔵資料については、なお多くの宿題が残っている状態ではあるが、だからこそ「資料紹介」をアイヌ民族文化研究センターとしての課題となってきた作業の報告の場としても位置付け、引き続き、収蔵資料の速やかな整理と情報提供、という博物館にとっての基本的な責務につとめていきたい。

（北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要編集委員会）